

# NEWS RELEASE



【報道関係各位】

2017年3月8日  
一般財団法人 日本気象協会

## 2017年桜開花予想(第3回)

### ～一時的に寒さが戻り、つぼみの生長はひと休み～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、2017年3月8日（水）に日本全国89地点の桜（ソメイヨシノほか）の開花予想（第3回）を発表します。あわせて3月9日（木）から、天気予報専門メディア『tenki.jp（てんきじえーびー）』にて各地の桜開花情報（<https://tenki.jp/sakura/>）を昨年のデザインから一新して無料で公開します。

また、昨年に引き続き、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」（みはるたきざくら：ベニシダレザクラ）、山梨県の「山高神代桜」（やまたかじんだいさくら：エドヒガンザクラ）、岐阜県の「根尾谷 淡墨桜」（ねおだに うすずみざくら：エドヒガンザクラ）の開花予想も発表します。さらに、今年は北海道の「新ひだか町」を新たに予想地点として加えています。

開花予想は日本気象協会のコーポレートサイト（<http://www.jwa.or.jp/>）やtenki.jp（<https://tenki.jp/sakura/expectation/>）にて無料で公開します。

#### (1) 概況

2017年の桜（ソメイヨシノ）の開花は、九州、四国、東海地方では平年並みまたは遅いところがあり、そのほかの地域は、平年並みか平年より早い予想です。

春分の日を過ぎ、22日に福岡市、東京（千代田区）で桜前線がスタートし、その後も続々と開花が進み、九州から関東地方にかけての多くの地域で3月末までに開花の便りが届く見込みです。これらの地域では開花から満開までの日数は1週間から10日前後となるため、新年度の幕開けを満開の桜で迎えられるところが多いでしょう。



2017年 桜開花予想前線図

#### ●日本気象協会 長期予報

気温	3月	4月	5月	～桜開花予想チームのコメント～
北日本	平年並か高い	平年並	平年並か高い	気温予想は前回と大きな変化はありませんが、西日本では3月の予想気温が若干低くなったため、予想開花日が前回より1日程度遅くなったところがあります。
東日本	平年並	平年並	平年並か高い	
西日本	平年並	平年並	高い	

### (2) 冬の空気が戻り、つぼみの生長はひと休み

3月の第1週の週末は、九州から東北南部まで3月下旬から4月上旬並みの気温となり、桜が咲くころの暖かさになりました。今週は、冬型の気圧配置となったため、暖かい陽気から一転し、気温が低くなっています。そのため、桜のつぼみの生長は少し足踏み状態になる見込みです。しかし、3月中旬以降は平年並みの気温となるため、つぼみの生長は順調に進む予想です。3月下旬から4月上旬にかけて、開花の便りが届き、関東地方より西のエリアではお花見を楽しむことができそうです。

4月、5月は数日の周期で天気が変わり、4月の気温は平年並み、5月は平年並みか高くなる見込みです。

### (3) 桜開花予想のたより (リレートーク)

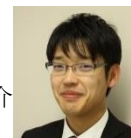
## 桜開花予想のたより リレートーク



名古屋市の名城公園の桜です。"桜が咲く頃の陽気"となった先週末の名城公園は、賑わいを見せていました。そのかわら、ソメイヨシノの花芽は、黄緑色の部分が見えてきています。(3月5日撮影)



日本気象協会  
中部支社  
気象予報士 諸原 慎之介



広島のスメイヨシノの標本木は、広島藩主の浅野長晟(ながあきら)が別邸の庭園として作った縮景園(しゅっけいえん)の一角にあります。つぼみはかたそうですが、標本木の周りの木には春の色合いに変わり始めた枝も見られます。(3月6日撮影)



日本気象協会  
中国支店  
気象予報士 筒井 幸雄





別紙

●各地の桜（ソメイヨシノほか）の2017年予想開花日・予想満開日（3月8日発表）

※平年（昨年）差の「-」は平年（昨年）よりも早く、「+」は平年（昨年）よりも遅いことを表します。  
 ※平年値や昨年度値は、気象庁・各自治体や名所の値を用い、平年値のない地点は過去の観測データをもとに算出しました。  
 ※満開を観測していない地点と過去の観測の記録がない地点は、予想満開日は発表しません。  
 ※長野県伊那市（高遠城址公園）はタカトオコヒガンザクラ、北海道稚内市、留萌市、旭川市、網走市、帯広市、釧路市、浦河町、新ひだか町はエゾヤマザクラ、根室市はチシマザクラ、そのほかの各地はソメイヨシノを対象としています。

九州地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
福岡県	福岡市	3月22日	-1	+3	4月2日	+1	+3
大分県	大分市	3月26日	+2	-2	4月7日	+4	-1
長崎県	長崎市	3月26日	+2	+4	4月6日	+3	+7
佐賀県	佐賀市	3月26日	+2	+3	4月5日	+2	+5
熊本県	熊本市	3月25日	+2	+3	4月4日	+3	+2
宮崎県	宮崎市	3月28日	+4	+4	4月7日	+5	+2
宮崎県	都城市（母智丘公園）	3月29日	+5	+4	4月6日	+6	+3
鹿児島県	鹿児島市	3月31日	+5	+4	4月9日	+5	+3
気象予報士 コメント	日本気象協会 九州支社 九州は今後も寒の戻りがあることが予想されるため、予想開花日は前回と同じかやや遅くなっています。 今月下旬には次々と開花の便りが届き、4月上旬には九州各地で美しい桜を楽しむことができそうです。						

四国地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
香川県	高松市	3月28日	0	+2	4月6日	+1	+2
徳島県	徳島市	3月29日	+1	-1	4月7日	+2	-1
愛媛県	松山市	3月25日	0	+2	4月6日	+2	+3
愛媛県	宇和島市	3月23日	+1	+3	4月4日	+3	+5
高知県	高知市	3月25日	+3	+1	4月3日	+4	+1
高知県	宿毛市	3月26日	+3	+7	---	---	---
気象予報士 コメント	日本気象協会 四国支店 四国地方の今冬の気温は、平年よりやや高かったため休眠打破が遅れ、桜の開花は太平洋側で平年より少し遅くなりそうです。3月下旬には各地で桜が開花し、4月上旬には満開を迎え、多くの人を楽しませてくれるでしょう。						

中国地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
広島県	広島市	3月28日	+1	+5	4月4日	0	+2
岡山県	岡山市	3月30日	+1	+4	4月6日	0	+5
島根県	松江市	3月31日	0	+8	4月7日	-1	+8
鳥取県	鳥取市	3月31日	0	+8	4月7日	0	+7
山口県	下関市	3月28日	+1	0	4月6日	+1	+3
山口県	岩国市 （錦帯橋・吉香公園）	3月28日	+1	+4	4月5日	0	+3
気象予報士 コメント	日本気象協会 中国支店 この先も寒の戻りはありますが、日に日に強まる日差しの後押しを受けて、これまでに比べると花芽の生長の度合いが早まってくる見込みです。各地とも平年並みに開花し、入学式のころには見ごろを迎えるでしょう。						



近畿地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
大阪府	大阪市	3月28日	0	+5	4月5日	0	+4
滋賀県	彦根市	4月3日	+1	+4	4月9日	0	+4
京都府	京都市	3月29日	+1	+6	4月5日	0	+3
兵庫県	神戸市	3月29日	+1	+3	4月6日	+1	+3
兵庫県	姫路市(姫路城)	3月29日	0	+5	4月8日	+1	+5
奈良県	奈良市	3月29日	0	+6	4月6日	+1	+4
和歌山県	和歌山市	3月26日	0	+4	4月5日	+1	+5
気象予報士 コメント	日本気象協会 関西支社 近畿地方はこのあと一時的な寒の戻りもありますが、少しずつ季節は進み、ほぼ平年並みの開花になるでしょう。4月上旬には、満開の桜が楽しめそうです。						

東海地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
愛知県	名古屋市	3月27日	+1	+8	4月5日	+2	+5
静岡県	静岡市	3月28日	+3	+1	4月5日	+2	0
静岡県	浜松市(浜松城公園)	3月29日	+2	+1	4月7日	+3	+4
岐阜県	岐阜市	3月28日	+2	+8	4月4日	0	+4
岐阜県	高山市	4月15日	0	+9	4月19日	-1	+6
三重県	津市	3月31日	+1	+3	4月6日	+1	+4
気象予報士 コメント	日本気象協会 中部支社 寒の戻りもありますが、日差しが暖かい日も多いでしょう。平野部は3月下旬に開花し、4月上旬には華やかに咲き誇る桜が新入生・新入社員を出迎えてくれそうです。その後、飛騨高山周辺は4月の半ばに、桜色に染まるでしょう。						

関東地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
東京都	千代田区	3月22日	-4	+1	4月1日	-2	+1
東京都	八王子市	3月26日	-2	+4	---	---	---
茨城県	水戸市	3月31日	-2	+3	4月8日	0	+2
栃木県	宇都宮市	3月31日	-1	+3	4月8日	0	+4
群馬県	前橋市	3月30日	-1	+7	4月7日	+1	+6
埼玉県	熊谷市	3月27日	-2	+4	4月5日	0	+4
埼玉県	さいたま市(大宮公園)	3月25日	-1	+3	---	---	---
千葉県	銚子市	3月31日	0	-1	4月6日	-2	0
神奈川県	横浜市	3月23日	-3	0	4月2日	-1	0
神奈川県	小田原市 (小田原城址公園)	3月26日	0	+3	4月5日	+2	+1
東京都	八丈島(八丈植物公園)	4月4日	+4	+1	4月11日	+2	+3
気象予報士 コメント	日本気象協会 本社 3月に入り、関東でも「春告げ鳥」であるウグイスの初鳴きを観測したところが出てきました。少しずつ春の話題が増えています。この先一時的な寒の戻りはあるものの、花芽は順調に生長して3月下旬には各地で桜が咲き始めるでしょう。						

甲信地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
山梨県	甲府市	3月27日	0	+4	4月3日	0	0
長野県	長野市	4月11日	-2	+8	4月16日	-1	+8
長野県	大町市 (大町山岳博物館)	4月18日	-1	+8	4月25日	+3	+9
長野県	飯山市(飯山城址公園)	4月16日	-1	+6	---	---	---
長野県	松本市(松本城)	4月9日	-1	+8	4月14日	-1	+8
長野県	上田市(上田城跡公園)	4月8日	-1	+7	4月12日	-1	+6



長野県	小諸市 (懐古園)	4月15日	0	+7	4月21日	0	+9
長野県	諏訪市 (高島公園)	4月12日	0	+8	---	---	---
長野県	伊那市 (高遠城址公園)	4月10日	-2	+7	4月16日	-1	+8
長野県	飯田市 (大宮通り)	4月4日	0	+6	4月9日	0	+7
長野県	飯田市 (天竜峡)	4月1日	+1	+6	---	---	---
気象予報士 コメント	<p>日本気象協会 長野支店 春の訪れが遅い長野県でも、先週末あたりから季節の進みを感じられるようになりました。3月下旬に平年を下回る気温となり、昨年より遅い開花になりそうですが、4月早々に南部で開花し、4月中旬には北部でも春の便りが届きそうです。</p>						

北陸地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
新潟県	新潟市	4月8日	-1	+5	4月13日	-1	+6
新潟県	上越市 (高田公園)	4月7日	-1	+6	4月11日	-2	+5
富山県	富山市	4月4日	-1	+6	4月10日	0	+9
富山県	高岡市 (高岡古城公園)	4月6日	0	+6	4月10日	0	+7
石川県	金沢市	4月2日	-2	+3	4月8日	-2	+4
石川県	輪島市	4月7日	-2	+4	---	---	---
福井県	福井市	4月3日	0	+7	4月8日	-1	+8
気象予報士 コメント	<p>日本気象協会 新潟支店 時折の晴れ間と共に、春らしい暖かな陽気の日も増えてきました。まだ、寒暖を繰り返しますが、これから一気に草花が目覚めて春の訪れを告げ、桜も順調に花芽を膨らませて、4月に彩りを加えてくれるでしょう。</p> <p>日本気象協会 北陸支店 富山では早咲きのカワヅザクラが咲き始め、ウグイスの鳴き声も聞こえ始めましたが、ソメイヨシノのつぼみはまだかたく、開花は4月に入ってからとなりそうです。</p>						

東北地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
宮城県	仙台市	4月8日	-3	+7	4月14日	-2	+8
青森県	青森市	4月24日	0	+7	4月29日	0	+8
青森県	弘前市 (弘前公園)	4月22日	-1	+4	4月28日	0	+5
青森県	八戸市	4月23日	0	+7	---	---	---
秋田県	秋田市	4月17日	-1	+3	4月22日	0	+3
秋田県	仙北市 (角館・桧木内川堤)	4月24日	0	+4	4月29日	+1	+6
岩手県	盛岡市	4月18日	-3	+7	4月25日	0	+7
岩手県	北上市 (北上展勝地)	4月19日	-1	+7	4月26日	0	+6
岩手県	大船渡市	4月12日	-2	+10	---	---	---
山形県	山形市	4月13日	-2	+7	4月18日	-1	+8
山形県	酒田市 (日和山公園)	4月12日	-2	+6	4月17日	-1	+3
福島県	福島市	4月8日	-1	+9	4月12日	-1	+9
福島県	いわき市 (小名浜)	4月5日	-1	+5	4月11日	-1	+2
気象予報士 コメント	<p>日本気象協会 東北支局 東北地方は北部や日本海側を中心にまだまだ積雪が残っています。一方で、この冬は平均して気温が高めに推移し、3月も平年より高くなる予想です。桜の開花も平年より早くなる場所が多いでしょう。福島県内では4月初めには咲き出すところがありそうです。</p>						



北海道地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
北海道	札幌市	5月4日	+1	+9	5月8日	+1	+7
北海道	稚内市	5月14日	0	+1	5月17日	0	+2
北海道	留萌市	5月9日	0	+4	5月13日	0	+4
北海道	旭川市	5月6日	+1	+3	5月8日	+1	+4
北海道	倶知安町	5月9日	0	+3	5月13日	0	+5
北海道	網走市	5月12日	+1	+4	5月14日	0	+4
北海道	帯広市	5月6日	+2	+6	5月9日	+2	+6
北海道	釧路市	5月16日	-1	+6	5月20日	0	+7
北海道	根室市	5月19日	+1	+6	5月25日	+1	+7
北海道	室蘭市	5月7日	+1	+12	5月11日	0	+9
北海道	浦河町	5月10日	0	+7	5月14日	+1	+8
北海道	函館市	5月1日	+1	+7	5月5日	+1	+9
北海道	松前町(松前公園)	4月29日	+1	+7	---	---	---
北海道	新ひだか町 (二十間道路)	5月7日	+2	+9	5月9日	0	+8
気象予報士 コメント	<u>日本気象協会 北海道支社</u> 北海道では、まだほとんどの地域は厚い雪に覆われており、札幌もまだ70センチ前後の積雪があります。ただ気温はプラスになる日が多くなり、日差しにも暖かさが感じられます。今年の開花は各地とも平年並みとなりそうです。						

### 【言葉の説明】

- 平年：1981～2010年の平均値
- かなり早い：平年よりも7日以上早い
- 早い：平年よりも3日から6日早い
- 平年並：平年との差が2日以内
- 遅い：平年よりも3日から6日遅い
- かなり遅い：平年よりも7日以上遅い

### ●日本三大桜 開花予想

	都道府県	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
三春滝桜	福島県	三春町	4月14日	---	+10	4月18日	---	+8
山高神代桜	山梨県	北杜市	3月30日	---	+1	4月5日	---	+4
根尾谷淡墨桜	岐阜県	本巣市	4月5日	---	+8	4月9日	---	+6

※日本三大桜は平年値なし

### 【日本三大桜について】

日本三大桜は、福島県三春町の「三春滝桜」(ベニシダレザクラ)、山梨県北杜市の「山高神代桜」(エドヒガンザクラ)、岐阜県本巣市の「根尾谷 淡墨桜」(エドヒガンザクラ)を指します。いずれの桜も、大正11年(1922年)に国の天然記念物に指定されています。樹齢が1000年以上で、幹回りが9メートル以上あります。

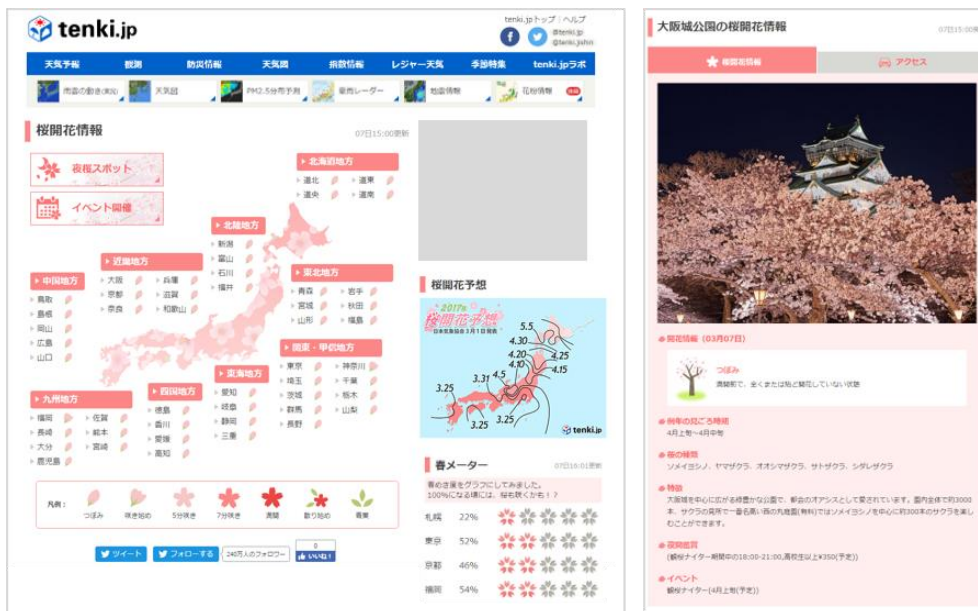
日本三大桜の開花予想作成にあたり、地元自治体やお寺の住職の方々のご同意を得て、過去の長年にわたる開花日や満開日の観測データを使わせていただき、それぞれの桜の開花日や満開日に関する独自の予測式を作成しました。開花時期には日本気象協会の気象予測を用い、地元自治体やお寺の住職の方々のご協力も得ながら、精度の良い開花予測を提供します。

日本気象協会は企業メッセージ「ハーモナビリティ」の考えのもと、“お天気コンシェルジュ”として、日々の生活に役立つ気象情報や防災情報、四季の変化を楽しむ季節情報などを提供することで、利用者の生活を豊かにする新しい価値を届けていきます。



●tenki.jp 桜開花情報 コンテンツイメージ

今年から全国の見ごろスポット、夜桜スポットなど、目的に応じたお花見スポットを一覧から選べます。



【パソコン版 画面イメージ】



【タブレット・スマートフォン版 画面イメージ】



## 2017年 桜開花予想に関するよくあるご質問

日本気象協会の桜開花予想について、よくあるご質問をまとめました。

### Q1：桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1：第1回は2月8日(水)、第2回は3月1日(水)、以降、3月から4月下旬まで毎週水曜日に発表します。2月中は【〇月〇日頃】として開花時期の傾向を発表し、3月以降は【開花日〇月〇日】【満開日〇月〇日】の形で発表します。

### Q2：日本気象協会の開花予想の特徴は？

A2：各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しています。

### Q3：開花日・満開日の基準は？

A3：気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

### Q4：予想する地点数は？

A4：2月中に発表する開花時期の傾向は48地点、3月以降に発表する開花日・満開日予想は全国で約90地点を発表します。予想地点約90地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる36地点を対象としています。また、昨年から日本三大桜の3地点を加えています。

### Q5：日本気象協会の桜開花予想の手法は？

A5：独自手法を用いて開花予想をおこなっています。独自手法とは、花芽の生育過程に大きな影響を与える、秋以降の気温経過に重点を置いた独自の予測式を用いるものです。

2016年の桜開花/満開予想の平均誤差は、開花予想が2.5日、満開予想が2.0日でした。東海・関東地方や北海道の開花直前の気温が予想より高い状態が続き、予想より数日早い開花になったため誤差が生じました。

### Q6：開花予想に使うデータは？

A6：①前年秋から予想作業日前までの気温観測値

②予想作業日から開花時期までの気温予測値（当協会ポイント予報および長期予報）を使用しています。桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽（はなめ）は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます（休眠打破）。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。

### Q7：長期予報の「北日本」「東日本」「西日本」の区分はどこ？

A7：気象庁が用いる範囲の通りです。北日本には北海道と東北地方、東日本には関東甲信・北陸・東海地方、西日本には近畿・中国・四国・九州北部地方・九州南部が含まれます。

### Q8：開花予想はどこで見られる？

A8：日本気象協会のコーポレートサイト(<http://www.jwa.or.jp/>)、ならびに

tenki.jp(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)、でご利用いただけます。tenki.jpでは、開花(満開)の予測だけでなく、3月以降は、全国のお花見ポイントの実況や見どころ情報も提供します。

以上